

国立大学図書館協会 地区協会助成事業のこれまで

国立大学図書館協会 人材委員会
東北大学附属図書館 事務部長

小陳 左和子 (KOJIN Sawako)



話題提供

- 事業の経緯
- 事業の概要
- 事業の例
- 事業の形態の類型
- さて、これから？

話題提供

- **事業の経緯**
- 事業の概要
- 事業の例
- 事業の形態の種類
- さて、これから？

国立大学図書館協会での提案・検討

2006/05/26 理事会	議事要録より「平成18年度予算(案)に関連して、伊藤副会長（名古屋大学・館長）より、予算に余裕があるので、地区協会の活動に対する助成金として運用できるような枠組みを作ってはどうか、という提案があった。協議の結果、各地区協会でのどのような事業を行うか計画書を提出してもらい、総務委員会でその取り扱いを検討することとなった。」
2006/10/26 理事会	3地区（東北、東海、中国四国）から計画書提出 → 審議 議事要録より「年度によって予備費に差が出ることは理解できたが、地区協会への活動を支援する体制は必要と思われるので、財源の確保等について継続的に協議したい。」「西郷会長（東京大学・館長）より、副会長及び事務局と相談しながら、予算の在り方をもう一度総合的に検討し、春の理事会で改めて協議したいとの提案があり、了承された。」

国立大学図書館協会での検討・事業開始

2007/05/18 理事会	平成19年度予算（案）における提案「地区の優れた事業計画に対し、補助を行う（公募方式とする）。」 → 審議 → 了承
2007/06/28 総会	平成19年度予算（案）で「地区事業補助費」に80万円を計上 → 審議 → 了承
2007年度	事業開始 → 公募 → 3地区（北海道、東海、九州）が応募 → 審査・決定 → 実施
2008年度	4地区が応募 → 審査・決定 → 実施
2009/06/19 総会	地区協会助成事業実施要項（案）の審議 → 了承 → 策定 ※実施期間：平成21年度及び平成22年度 → 以後、2年度ごとに見直し
2009年度 以降	実施要項に沿って継続

事業実施地区の推移

地区	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03
北海道	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東北			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
関東甲信越		● 合同		●	●	●	●	●	●	●	●	●	中止	●	
東京				●		●	●	●		●	●	●	●	●	●
東海北陸	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
近畿				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中国四国		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
九州	●	●		●		●		●		●	●	●	●	●	●

話題提供

- 事業の経緯
- **事業の概要**
- 事業の例
- 事業の形態の種類
- さて、これから？

「地区協会助成事業実施要項」 (令和3年11月24日最終改正) より

- 趣旨 高い意義を有する優れた地区協会事業に対して事業費助成
- 期間 令和3年度及び令和4年度
- 申請 地区協会から協会事務局へ事業計画書・請求書を提出
協会事務局は申請内容を理事会へ報告
- 金額 2年度で30万円を上限
- 報告 助成を受けた地区協会は協会事務局へ事業実施報告・会計報告
- 評価 人材委員会は事業内容を評価し、理事会へ報告
- 広報 地区協会は会員館に情報共有、広く一般に周知

実施要項改正の推移

2009年6月	(制定)
2011年6月 2013年5月 2015年5月	「実施期間」を変更するのみ
2017年6月	追記「なお、事業実施にあたっては地区内外に成果の共有が図られるよう留意するものとする。」
2019年5月	「実施期間」を変更するのみ
2021年11月	評価担当を「総務委員会」から「人材委員会」へ変更 項目追加「5. 広報・情報共有 地区協会は協会事務局と協力し、事業の成果について会員館に情報共有するとともに、広く一般に周知する。」

話題提供

- 事業の経緯
- 事業の概要
- **事業の例**
- 事業の形態の類型
- さて、これから？

2021年度の各地区における事業一覧

地区	種別	事業名
北海道	オンライン講演会・実習	魅せるオンライン教材！デジタル時代のリテラシー教育
東北	オンラインワークショップ	コミュニケーションの場をひらく：図書館が企画するこれからのワークショップ
東京	プロジェクト オンラインイベント	国立大学図書館協会LibrarianMapの運用 突撃！隣の図書館員：LibrarianMapでスキルアップを考えよう
東海北陸	オンライン講演会	「多様性」時代の大学図書館：知ることから始めよう
近畿	オンライン研修会	研究データポリシーの策定に向けて
近畿	オンライン研修会	デジタル教科書による授業運営の現状と課題
近畿	オンライン講演会	図書館の防災を考える：実践的危機管理訓練の有用性
中国四国	オンライン研修会	第9回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュ パーソンセミナー
九州	オンライン講演会	図書館のカビ対策及び水損資料レスキュー

※2020年度以前の一覧は別紙参照

話題提供

- 事業の経緯
- 事業の概要
- 事業の例
- **事業の形態の類型**
- さて、これから？

事業の形態

- 形式

- 講演会 / 研修会 / 講習・実習 / セミナー / ワークショップ / フォーラム / シンポジウム
- プロジェクト / キャンペーン

- 実施方法

- 集合形式 / オンライン
- ウェブサイトでの展開
- 各大学での取り組み

事業の形態

- 実施体制

- 提案型（提案大学が中心になって担当）
- 会員館からメンバーを選出し、チームで実施

- 参加対象者

- 地区内の会員館
- 他の地区内の国立大学も
- 地区内の公私立大学も
- 地区内の公共図書館等も

話題提供

- 事業の経緯
- 事業の概要
- 事業の例
- 事業の形態の類型
- **さて、これから？**

まずはこれまでの成果の可視化を



janul.jp/ja/members/promotion

JANUL 国立大学図書館協会
Japan Association of National University Libraries

ログアウト 会員用ページ 日本語 EN

サイトマップ 検索

総会 理事会 委員会 地区協会 事業等 資料等

ホーム / ホーム(会員) / 地区協会助成事業

地区協会助成事業

令和4（2022）年度の募集

- スケジュール
 - 令和4年 7月 1日(金) 募集連絡
 - 令和4年12月28日(水) 申請締切
 - 令和5年 3月10日(金) 実施報告書提出締切
- 募集連絡
 - [PDFファイル]
 - 【国大図協04-21】 国立大学図書館協会地区助成事業について（照会）
 - 地区協会助成事業実施要項（令和3年11月24日改正）
- 提出書類（様式）
 - [wordファイル]
 - 事業計画書（別紙様式1）
 - 助成費請求書（別紙様式2）
 - 実施報告書（別紙様式3）
- 提出先
 - 国立大学図書館協会事務局
（東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム）
e-mail：kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp
TEL：03-5841-2612, 2613
 - ※東京大学ではセキュリティポリシーによりWord旧形式（.doc）の添付ファイルはメール受信できませんのでご承知おきください。

実施事業

- 2021（令和3）年度
- 2020（令和2）年度
- 2019（令和元）年度
- 2018（平成30）年度
- 2017（平成29）年度

- 一応、まとめページはあるが、「会員用ページ」内
- 公開ページでは、各地区協会のページ内に隠れている



まずはこれをなんとかしたい

ほかにも課題・改善点がありますよね

本日、それを炙り出して、次へ繋げましょう